

●私立大学区図書館協会地区部会研究部研修会
テーマ「みつけよう・伝えよう大学図書館の魅力」
【講演】
**大学図書館サバイバルのための
ブランディング戦略**
-コンセプトメイクからデザインングへ-

講師 仁上幸治
(にかみ・こうじ/ 帝京大学総合教育センター准教授)
■2013年11月14日(木)13:15~14:45(90分)
■桜美林大学 町田キャンパス 崇貞館 6階会議室H

- 2001年、新宿西口の路上で拾得
- 室内放し飼い
- 名前は **ワカメ**

2



クサガメ

- 爬虫類=下等動物?
- 寝てばかり?
- 鈍足?

4

プロローグの重要性

- 動画の現物再現力
- 画像の細部説明力
- 話のツカミ
- 自己紹介のイントロ
- 自分ブランディング

5

- 仁上幸治 (にかみ・こうじ)**
- 帝京大学 総合教育センター准教授
- 元・早稲田大学図書館司書

略歴

- 私立大学図書館協会企画広報研究分科会 代表
- 日本図書館協会図書館利用教育委員会 委員
- 非常勤講師(法政大学、亜細亜大学、東京家政大学、桜美林大学)

桜美林大学

- 2006~2008年度
- 司書教諭課程
 - 情報メディアの活用
 - 学校図書館メディアの構成

イマドキの学生

誤字脱字

- 図書館 **過程**
- 図書館 **家庭**

口語表現

- **パツと見** → 一見すると

- ×有効的 → 有効な、効果的
- ×情報リテラシー能力 → 情報リテラシー
- ×以外に → 意外に
- ×なので → したがって
- ×ですが → しかし
- ×じゃなくて → ではなく
- ×ちゃんと → きちんと、適切に
- ×ものすごく → 非常に

LIBRARY VIDEO SERIES

情報の達人

DVD 全3巻



13

MELIC レポート-論文作成講座 活用講座

第1回：即効入門編

あなたの感想文じゃダメだったの？

7月21日(水)16:30~17:30

14

図書館主催の課外講座

- 講師担当(3年間)
- 資料公開(配付資料・スライド・アンケート結果)
- 動画もアップ(2012年。学内限定)

ウサギとカメ

- イソップ童話
- カメ
 - 鈍足
 - 地道に着実な歩み
 - 最後に勝つ
 - …でもメンドクサイ！

■ カメはノロくない！

■ 俊足のカメなら無敵！

最近の研究テーマ

- 図書館ブランディング
- 図書館員の自分ブランディング

お願い

- 一回性のライブ
- スライド内容は後日ファイル配付
- ノート不要
- 感想・質問用のメモOK
- プロジェクター、照明、マイクボリューム、エアコンなど受講環境についての要望は随時

講演内容

- 第1部 問題の設定
- 第2部 図書館員の状況
- 第3部 企画立案の枠組みの再考
- 第4部 取り組みの計画づくり
- 第5部 改革への提案

第1部 問題の設定

- 【1】利用者減少の実情
- 【2】立地の問題
- 【3】対策の枠組み

【1】利用者減少の実情

館の実績

- サービス認知度が上がらない
- 利用が増えない

23

組織

- 図書館が組織の中で重視されていない(「突出はいかなものか」)
- 上司が保守的
- 同僚が拒絶反応
- 外部委託・異動による人材育成の困難、研修コストの上昇

24

難関をどう突破すれば
よいか?

25

【2】大学図書館の利用者減少対策

- ◎筑波大学付属図書館
- ・スターバックスコーヒーを誘致
- ・利用者増に結びついたか?

27

- ◎帝京大学図書館(MELIC)
- ・スターバックスコーヒー誘致挫折
- ・学外コラボによる読書推進
- ・大型予算

28

共読ライブラリー

- 松岡正剛・編集工学研究所との
コラボ企画

29

絶大な効果

- 利用促進
- 学内PR
- 学外宣伝
- 話題提供

30

問題点

高額予算
学生の認知度
「マツオカセイゴオ、誰？」

31

【2】立地の問題

32

立地の問題

- ◎東北学院大学図書館
- ・メインキャンパスから一般道路をはさんで隣に立地。生協ビルから地下道を抜けて入館可能。
- ・1階はカウンターと参考図書。学生の反応「これしか本はないのか～」と帰ってしまう。
- cf.早稲田大学図書館新館(1991)
- ・図書館体操が話題に！(NHK「投稿Do画！」取材)

33

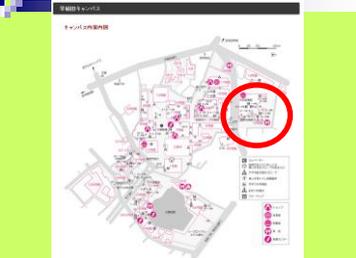
キャンパスマップ

34



キャンパスマップ

35



桜美林大学 司田キャンパスマップ

36





【3】対策の枠組み

- 利用者減少はなぜいけないのか？
- 図書館予算の減少はなぜいけないのか？
- 図書館組織の統廃合はなぜいけないのか？
- 図書館員の減員・外部委託はなぜいけないのか？

- 情報サービス職は図書館組織内にないとけないのか？
- 図書館員という職種の存続を目的にしてよいのか？
- あなたは大学内で何をしたいのか、したかったのか？

- #### デパートの凋落
- 立地問題
 - 新宿学
 - 繁華街西伸説(プラタモリ)

- #### 立地の責任
- 大学キャンパス整備計画
 - 動線計画
 - コンビニなら撤退

- #### 図書館の学内の位置づけ
- 「心臓」説より「盲腸」説
 - 入試広報の写真
 - 専門職だから外からはボラックボックス
 - 図書館員にまかせておけばよい
 - 無関心

- #### 限界値を知る
- 努力と結果は正比例しない
 - 上限に限界値がある
 - 無駄な努力はしない
 - 労力の重点配分は戦略しだい
 - 効果的効率的な取り組み

事前課題アンケート

45

回答数
54件/64名中
回答率 84.3%

46

◆仁上幸治. 研究文献レビュー「図書館の「広報」は進化しているか?—説明責任と自己アピールの時代に求められる理論と実践—」『カレントアウェアネス』No.305, 2010.9, pp.16-24. CA1728:
HTML版:
<http://current.ndl.go.jp/ca1728>

47

* 仁上先生の文献を読んで、共感したところ、より深く聞きたい内容があればご記入ください(200字以内)
ヒアリングシートにご記入ください。

48

多かった質問

- どうしてよいかわからない
- どこから手を付けてよいかわからない
- 自分に何ができるか自信がない
- 教えてくれる人がいない

49

一番ショッキングな回答

50

■ 申し訳ございません。
特にありません。

51

第2部 図書館員の状況

- 【1】図書館員の状況
- 【2】研修の必要性
- 【3】研修の機会

【1】図書館員の状況

図書館員とは誰か

- 無関心図書館職員の異動
- 学内他部署からの転入
- 学内他部署への転出

54

図書館との関わり

- 利用者だったのか？
- 理解者だったのか？
- 支援者・協力者だったのか？

55

とまどい

- 慣れない業務
- あれこれ忙しい
- 長年の伝統と慣例
- 職場の保守的な空気

56

自習状況

- 『図書館広報実践ハンドブック』(2002)
- 『図書館利用教育ハンドブック(大学図書館版)』(2003)
- 『情報の達人』(DVD全3巻33講)(2007)
- 『情報リテラシー教育の実践ーすべての図書館で利用教育をー』(2010)

57

読んでない
(-”-)

58

図書館が魅力的でない8つの理由

- 1)オリエンテーションが地味
- 2)講習会がありきたり
- 3)広報紙が平凡
- 4)利用案内が旧態依然
- 5)新着図書案内が書誌データの羅列
- 6)図書館員の古いイメージどおり
- 7)研修を活かせない組織風土
- 8)研修成果を応用しない姿勢

59

全部裏返す！

60

できない理由

- 能力
- 意欲
- 本気度
- ・身を切る
- ・体を張る

61

【2】研修の必要性

62

図書館員の仕事力

- パソコンスキル
- 事務処理能力
- 企画力
- 広報力
- 政治力

63

研修の必要性

- 新任者の底上げ
- 在任者の知識更新と意識改革
- 館員・管理職・館長

64

【3】研修の機会

65

研修分科会

66

●私立大学図書館協会東地区部会研究部研修分科会
第2回「大学図書館サービスの新たな展開」
【講演】
**次世代図書館員のための
自己アピール講座**
ー存在感訴求力をどう身に着けるかー

■日時：2009年7月10日（金）
講演とワークショップ

68

講師

- 仁上幸治氏(にかみ・こうじ/帝京大学 総合教育センター 准教授;元・早稲田大学図書館)
- 渡邊 崇氏(わたなべ・たかし/広告制作ディレクター・コピーライター)

68

私立大学図書館協会東地区部会研究部研修分科会 最終発表
2009年7月10日(金) 発表

第2回
大学図書館サービスの新たな展開
【講演とワークショップ】
参加者アンケート集計結果報告書
2009年7月10日(金) 発表

研修担当：NPO法人 大学図書館協会東地区部会
■日時：2009年7月10日(金) 13:00-17:00
■会場：埼玉大学東京メッセ研修センター(甲中ピエタタワー 9階)
■主催：私立大学図書館協会東地区部会研究部
■協賛：NPO法人 大学図書館協会東地区部会(CJAL)

【1】まとめ
総合満足度：4.92点(5点満点)
刺激的で実践に役立つ面白い内容を斬新なプレゼンで楽しく学べて、新たな視点から未来が見えて来た！グループワークは情報交換の機会になって良い。時間不足が残念。もっと聞きたいテーマ多数。新しい形の研修の今後が楽しみ！

69

まとめ

- 総合満足度：4.92点(5点満点)
- 刺激的で実践に役立つ面白い内容を斬新なプレゼンで楽しく学べて、新たな視点から未来が見えて来た！グループワークは情報交換の機会になって良い。時間不足が残念。もっと聞きたいテーマ多数。新しい形の研修の今後が楽しみ！

70

研究分科会

71

私立大学図書館協会
東地区部会
研究部
研究分科会

72

■ 存続か休止か廃止か
■ 瀬戸際

73

企画広報研究分科会

74

図書館総合展 2013

■ 満員御礼
■ 立見盛況

75

●私立大学図書館協会東地区部会研究部
企画広報研究分科会主催シンポジウム
【基調講演】

**図書館サバイバル用
「万能道具箱」の今**

—企画広報ツールの研究開発30年の到達点と課題—

■会場：図書館総合展 パシフィコ横浜 第9会場
■日時：2013年10月29日（火） 10：00-11：30

■ 基調講演：仁上幸治（帝京大学准教授）
■ スピーカー：太田香保（松岡正剛事務所）
■ スピーカー：山田かおり（嘉悦大学情報メディアセンター図書グループ長）
■ スピーカー：中嶋康（帝京大学メディアライブラリーセンターグループリーダー）
■ プレゼンター：島田貴司（立正大学情報メディアセンター）

77

分科会小史

企画広報力強化のための自主ゼミ型共同研究

—専門性崩壊状況における存在感訴求の可能性を求めて—

78

企画広報研究分科会20年の歩み

■ 第1期 1980-81 図書館サービス研究分科会 広報グループ
■ 第2期 1982-83 図書館サービス研究分科会 広報グループ
■ 第3期 1984-85 パブリックサービス研究分科会 広報グループ
■ 第4期 1986-87 企画広報研究分科会

79

Plan Do Seeサイクル

■ 遊びゴコロ
■ 現状分析・改善案立案
■ 提案・実行・評価

80

勢い

■ 改善
■ 変革
■ 革命

81

1980年代

82

図書館のマイナスイメージ

- 「暗い」 K
- 「堅苦しい」 K
- 「カッターイ」 K

83

プラスイメージ

明るい : A

気軽 : K

便利 : B

84

研究分科会
今昔

企画広報研究分科会

- これからは企画と広報の時代
- 先駆者・預言者？

86

マナーポスターの制作

- 公募
- 厳しい審査
- クリエイターにとって狭き門
- 一般の注目を集める

87

私立大学図書館協会企画広報研究分科会

- 広報手段の共同制作 1984—
- 日本図書館協会へ移管 1998-99
- 2005復活

88

ポスター共同制作

- 全国的な支持者
- 定着と期待

89

異端者の運命

- 秘密結社か新興教団か

90

研究部からの批判

- 共同制作は研究ではない!
- 本来の研究に戻れ!

91

職場での逆風

- 外でばかり活動
- 本務が疎かでは困る

92

迫害と受難

- 付属高校出向
- 遠隔地異動
- 館外異動
- 退職
- 転職

93

共同制作の移管

- 企画広報研究分科会から
- 日本図書館協会へ

94

日本図書館協会

- 1998、1999
- 木原庸佐
- コニーちゃん
- フジテレビ「ポンキッキーズ」

95

- 日本図書館協会の中断
- 企画広報研究分科会での復活

96

現場は壁に囲まれている
! (-"-)

97

「広報＝戦略」説

- 1) 図書館員の病気10
- 2) 図書館組織の病気10
- 3) 4段階発展モデル
- 4) 広報20大手段
- 5) 基本戦術42

98

* 図書館員の10大症候群

- (1)「懐古感傷」症、または「雅(みやび)破壊反対」説
- (2)「応答中毒」症、または「対話の喪失防止」説
- (3)「大衆嫌悪」症、または「過保護無用」説

99

- (4)「協働拒否」症、または「我不関知」説
- (5)「怠惰居直」症、または「呼び込み＝仕事増御免」説
- (6)「不毛謙虚」症、または「自力勉強唯一」説

100

- (7)「体得過信」症、または「マニュアル過信禁物」説
- (8)「無策安住」症、または「そこまでやらずに」説
- (9)「自信過剰」症、または「オレがやらなきゃ誰がやる」説
- (10)「外注拒否」症、または「自前手作り満足」説

101

*** 図書館組織の病気**

- (1)本務優先主義
- (2)前例主義
- (3)場当たり主義
- (4)減点主義
- (5)部門至上主義(セクショナリズム)

102

- (6)完全主義
- (7)クソマジメ主義
- (8)事なかれ主義
- (9)居座り主義
- (10)体面主義

103

壁を壊すには戦略が必要!

104

4段階発展モデル (1982)

105

広報20大手段 (1982)

(広報支援手段)
(広報手段)

106

(広報支援手段)

- 1. 広報ノート
- 2. 質問メモ
- 3. スタッフマニュアル
- 4. 事務工程分析図
- 5. 企画書

107

- 6. 館内報
- 7. 打合せ会
- 8. 広報委員会
- 9. 年次計画書
- 10. 年次報告書

108

- 11.中長期計画書
- 12.図書館委員会

109

(広報手段)

- 13.オリエンテーション
- 14.投書箱
- 15.本の架
- 16.利用案内
- 17.PR紙

110

- 18.ポスター
- 19.ビデオ
- 20.サイン計画

111

基礎理論の研究から！

112

基本戦術42

- 「壁」を超える戦略と戦術
- 考え方の基本10

113

実践への応用が前提！

114

パスファインダーバンク

115

右肩下がりの時代

- 派遣
- 委託
- 指定管理

116

専門性の崩壊

- 専任職員の減少

117

現場

- ひとり職場
- やりたい放題?
- 研修疲れ

118

脱出なるか?

- 図書館員の大学院進学ブーム
- 研究の復興

119

展望

- 会員数の奇跡のV字回復なるか?

120

企画広報研究分科会

121

万能道具箱
プロジェクト

122

- 時代を先取りした異端の先駆者か
- ニッチなスキマ産業か

123

そして誰もいなくなっ...
ては困る!!

124

来期新会員募集
近日公開迫る!

125

第3部 企画立案の枠組みの再考

- 【1】図書館ブランディングの基本的な考え方
- 【2】図書館政策の立て直し
- 【3】活動の場としての図書館
- 【4】利用者教育・利用促進

【1】図書館ブランディングの基本的な考え方

図書館グッズ研究

アメリカ図書館協会
■ American Library Association (ALA)

129

まとめ

- 日米格差
- 図書館の好印象を作るグッズの威力
- 参考例は図書館外にいくらでもある

130

図書館総合展2007

● 図書館総合展フォーラム講演会
(主催: 社会福祉法人 埼玉福祉会)

【講演】
**図書館グッズが利用者
と館員を変える!**
—イメージ戦略の先進事例—

講師 仁上幸治 (にかみ・こうじ)
■ 2007年11月18日(木) 10:30~12:00 (90分)
■ パシフィコ横浜フォーラム第3会場

旭川セミナー2009

● 旭川医科大学図書館主催・旭川市図書館共催
講演会

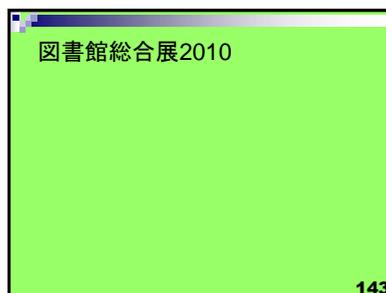
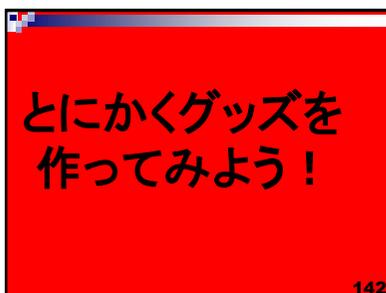
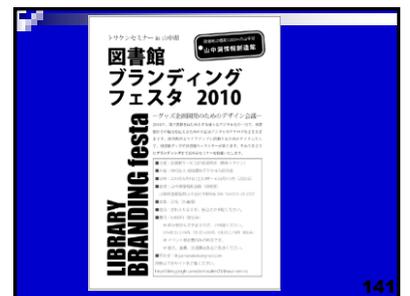
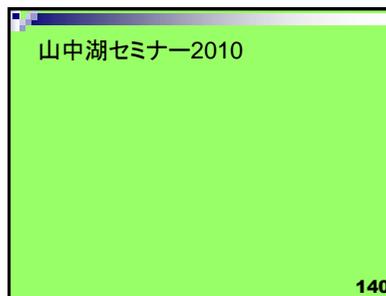
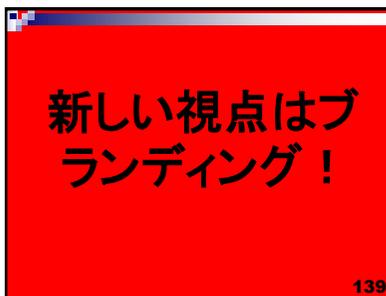
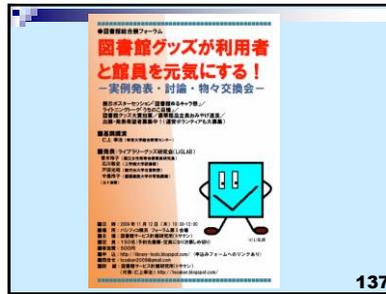
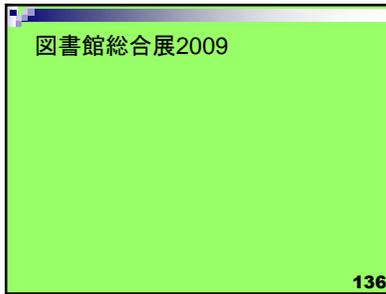
図書館をもっと元気に!
—“グッズ”活用による新発想広報のすすめ—

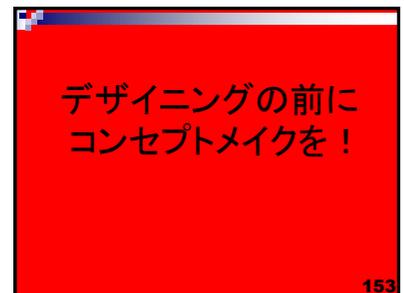
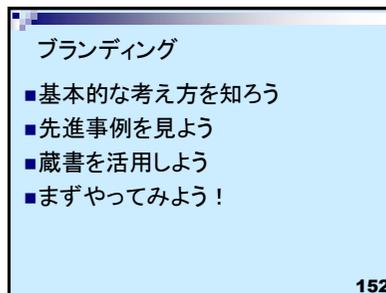
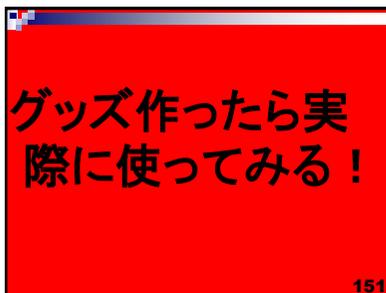
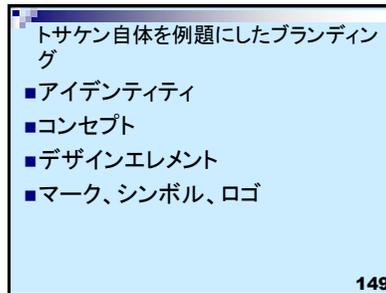
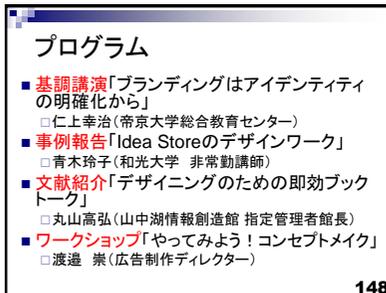
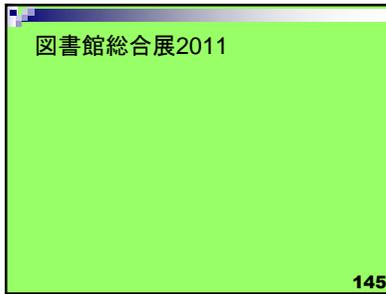
- 講師 仁上幸治 (にかみ・こうじ)
- (帝京大学総合教育センター准教授/元・早稲田大学図書館司書)
- 2009年9月12日(土) 14:00~16:00 (120分)
- 旭川市中央図書館 2階 視聴覚室

134

図書館サービス計画研究所
(略称トサケン)
メーリングリスト会員600名
全館種 全国
勝手にセミナー

135





できる大学図書館広報術
平成24年2月16日(木)
広島大学前講堂
ライブラリーホール

154

広告業界に学ぼう！
ついでに
人脈を作ろう！

155

研修の条件

- 誰でも簡単にできる
- すぐに役立つ実用本位
- ワークショップ形式

156

研修テーマ候補

- キャッチコピー講座
- 広告レイアウト講座
- パブリシティ講座
- ブランディング講座
- デザイン強化合宿
- プレゼンテーション講座
- スライドショー作成講座
- アドヴォカシー講座

157

ブランディング

- 館のブランディング
- 館員の自分ブランディング

158

図書館総合展2012

159

図書館員の自分ブランディング検定
専門職領域の時代にあなたの
専門職イメージは何点？

160

図書館界の知恵袋を目指す
開かれたバーチャル研究所

図書館サービス計画研究所
Laboratory for Library Service Planning
(開校 図書館・オンライン) Since 2006

161

まずは図書館ブランディング

162

図書館員イメージ

- 本が好き(=人が苦手)
- 暗い
- 消極的
- ヒマ
- ユルい授業 安易な資格

163

能力と姿勢

図書館員イメージを転換
するために必要なこと
は何か？

164

図書館のPR
(パブリック・リレーションズ)

165

■中西元男『コーポレート・アイデンティティ戦略—デザインが企業経営を変える』誠文堂新光社, 2010.4.

166

世界で一番読まれているマーケティング教科書！

- コトラー&ケラーのマーケティング・マネジメント基本編 第3版
- 著:フィリップ・コトラー(Philip Kotler)
- ケビン・レーン・ケラー(Kevin Lane Keller)
- ピアソン・エデュケーション
- 2008年12月20日
- 474p.
- 価格:3,990円

167

■ケラー, ケビン・レーン, 恩蔵直人 監訳『戦略的ブランド・マネジメント』第3版, 東急エージェンシー, 2010.

■845p, 7980円(税込)

168

なぜ低い？

- 認知度
- 利用率
- 親組織内の重要度
- スタッフの労働条件

169

図書館員の名刺

- 事例研究

170

どこかダメか？

- 同じ組織なのに印象がバラバラ
- ロゴの書体
- マーク、シンボル
- レイアウト
- カラー
- ひな形なし？！

171

【2】図書館政策の立て直し

1)なぜ来館者数を増やさなければならぬのか？

- 投下資源と産出サービスの運用効率
- 人員削減防止>>学内人材の再配分

2)非来館型サービスの推進は何のため？

- 電子ジャーナルの契約数の増加
- オープンアクセス化の推進
- ホームページ上のサービスの拡充
- 電子書籍の導入
- 全学生に電子書籍端末配布

3)理系研究者の理想は全電子化+無蔵書!?

- ILL/DD申込・キャンセル分析
- 電子ジャーナルの契約範囲の中途半端さ
- リンクリゾルバの精度不足が所蔵あり見落としの原因
- 電子資料とプリント資料所蔵検索は面倒！

- 利用者教育の受講はコスト！
- プリント資料の所蔵ありは来館＝自カコピーのコスト要因！
- 論文のオンライン複写デリバリーこそが理想
- 図書館の施設・組織・要員は不要

4)学部生の学習用プリント資料の効果的提供

- 教育＝学習の授業直結ニーズの創出とサービス提供
- 本来的利用の核となりうるか？

【3】活動の場としての図書館

【3】活動の場としての図書館

- 図書館(資料・人材)を使う
 - 蔵書、電子ジャーナル
 - レファレンスサービス、ILL/DDサービス
- 図書館(施設・設備)を使う
 - PC等の学習・発表機器+ラウンジ(ラーニングコモンズ)
 - 発表の場(例:大阪芸術大学)
 - 図書館員はコーディネータ、ファシリテータ

【4】利用者教育・利用促進

【4】利用者教育・利用促進

少利用者を多利用者に！

- ・ハードコア・ノンユーザーをライト・ユーザーに
- ・ライト・ユーザーをヘビー・ユーザーに
- ・ヘビー・ユーザーをスーパー・ヘビー・ユーザー兼インストラクターに！

第4部 取り組みの計画づくり

- 【1】図書館の経営環境と図書館長の役割
- 【2】奇蹟のV字回復への戦略
- 【3】図書館と図書館員のイメージを変える
- 【4】ネックを超えるー具体的・現実的・実行可能な案を作るー

【1】図書館の経営環境と図書館長の役割

【2】奇蹟のV字回復への戦略

【3】図書館と図書館員のイメージを変える

【4】ネックを超えるー具体的・現実的・実行可能な案を作るー

**明日のワークショップで
徹底討論を！**

187

第5部 改革への提案

- 提案1: 5つの特効薬を試す
- 提案2: 外堀を埋める
- 提案3: 本丸を攻める
- 提案4: ブランディングを強める
- 提案5: 自分ブランディング
- 提案6: 研修を変える

提案1: 5つの特効薬を試す

提案1: 5つの特効薬を試す

- 1) オリエンテーションと講習会を変える
- 2) 帳票に指導内容を埋め込む
- 3) ホームページ上に配付資料とスライドを公開する
- 4) 探索法指導内容をパスファインダー形式に作り変える
- 5) 教科書を作る(一般・専門・研究)

190

提案2: 外堀を埋める

提案2: 外堀を埋める—非利用の原因をツブす—

- サービス・コンセプトはAKB(明るい・気軽・便利)
- グッズで認知度・好感度アップ
- カフェで集いの場の提供
- ラーニングcommonsで学習支援

提案3: 本丸を攻める

提案3: 本丸を攻める

- 大学基礎教養教育への直接貢献
- リザーブ図書制度の本格運用

「指定図書」という誤解

- Reserve Books
- 大学教育支援サービスの必須基幹システム
- 受講生数と読了締切日に合わせた最適冊数と貸出期限
- 教員・事務職員と図書館員の本来的協働

195

教員キーパーソンの発見と協働

- ガイダンスのイメージチェンジ
- 講習会の高度化

196

提案4: ブランディングを強める

提案4: ブランディングを強める

- マーク、シンボル、ロゴタイプ
- マスコットキャラクター
- 図書館グッズ

提案5: 自分ブランディング

提案5: 自分ブランディング

- 名刺
- イベント参加(学内外)
- 発言
- 発信(SNS)

200

自分ブランディング
検定

201

伝えたい自分イメージ

- 1)プランナー
- 2)コーディネータ
- 3)プロデューサー
- 4)インストラクター
- 5)クリエイター

202

提案6: 研修を変える

提案6: 研修を変える

- いつでも相互扶助
- 気軽な情報交換
- 「やりっぱなし」から「フォローアップ重視」へ

204

テーマ

- キャッチコピー講座
- 広告レイアウト講座
- パブリシティ講座
- ブランディング講座
- デザイン講座(強化合宿)
- プレゼンテーション講座
- スライドショー作成講座
- アドヴォカシー講座

205

フォローアップ装置

- 参加者メールリスト(同期の桜)
- 事例紹介共有サイト(投稿・閲覧)
- 研修資料アーカイブ
- 研修成果報告発表大会

206

すぐ始められる取り組み

207

1)作り直す品目

- 名刺
- サイン
- 封筒
- 利用者カード
- 図書館グッズ

208

2)見直す必要がある視覚要素

- 名称・用語
- ロゴマーク
- キャラクター
- デザインコンセプト

209

用語

- 「貸出・返却」
- 「禁帯出」
- 「書架」
- 「NDC」

210

3)連携の仕掛け

- 館内一丸
- 地域内図書館間連携
- 類縁機関連携
- 異業種連携

211

4)推進体制

- 改善マインド
- 改善チーム

212

* 結論

いつ始めるか？

今でしょ！

213

- 1. 参考文献
- 2. 参考サイト
- 3. 講師紹介
- おみやげ: ALALおり
- ALAGraphics

<http://www.alastore.ala.org/catalog.aspx>

質疑応答

ありがとうございました。